

論説

迎年の辭

水野鍊太郎



歳華改まりて茲に昭和十二年の新春を迎えた過去一年間に於ける我國情を顧みるに、外に在つては隣邦中華民國との折衝と謂ひ、歐米諸國との複雑微妙なる關係と謂ひ寔に深甚なる注意と戒心とを要するものがあり、内に在つては二月二十六日突發せる彼の一大不祥事件に依て帝都は一時不安と混乱とに陥り遂に戰時警備の下令となり、次で戒嚴令の公布を見たのであるが其の間に於て内閣は更迭し、第六十九回特別議會は開會せられ、長くも前例なき勅語を賜はり、軍肅問題と庶政一新が強調せらるゝに至つた、かくて議院制度並に選舉制度の改正、貴族院改革、行政機構改善、國防充實計畫電、力國有問題、民間航空振興問題、海運發展問題、義務教育延長問題、燃料問題等の國策樹立に關する論議

が朝野の間に熾烈を極むるに至り、昭和維新の氣運が醸生せられたるやに感ぜらるゝのである。

昭和十二年度の國の歳計豫算案は、絛上の如き情勢下に編成せられた巷間傳はれる所に依れば、歳出總額は三十億四千餘萬圓で、斯の尨大なる經費に對する財源としては、煙草の値上、郵便料金の値上、關稅改正増稅特別會計の繰入等、百方策を講じ、歲入の増加を圖るも、尙十億圓に垂んとする赤字公債を發行しなければならぬ模様であるが、今日の事情より察して、國費の膨脹は到底之を避け難き形勢である。従つて富源の増進、民力涵養の政策が特に急務中の急務たるべきは、敢て言を費やさずして明かなのである。

富源の増進、民力涵養政策の多種多様に亘ることは勿論であるが、就中交通機關の良否は直に國民生活上に反映するが故に、之を産業上から見ると、國防上から見ると、其の完備は一日を緩うすべからざるのである。交通機關の中に在つて最も普遍的であつて、而かも效果の大なるものは、道路に外ならない。故に農業を奨勵するにも、工業を發達せしむるにも、道路政策は之を閑却してはならぬのである。鐵道の運輸界に於ける特殊的使命と自動車の急激なる發達とは、道路橋梁の改良を促進することとなり、大正八年道路法制定以來、昨十一年三月に至る間に於て、國道府縣道を通じての改良施工は、延長三千三百七十九萬七千七百餘米に達したのである。然るに其の鋪裝施工延長は、軍事國道一分七厘、國道一割餘、指定府縣道三分九厘、其の他は一分四厘の割合に過ぎないのであるが、幸に昨年度に於て、新に一部事業の繼續を認められて、千三百五十八萬九千圓の事業費が豫算に計上せられたのである。

又昭和十二年度に於ては主要國道の改良費千五百餘萬圓の新規事業費が計上せられたるやに仄聞するが曩に東京横濱間に第二國道の築造が起工せられたる等寔に欣快を感ずる次第である。

回顧するに今より十八、九年前の道路の状態は實に貧弱なるもので鋪裝の如きは僅に東京帝國大學前の一短區間に過ぎず東海道に在つても箱根の峻坂は依然舊の如く、大河川には渡船若くは假設木橋あるのみであつて之を現今の状態に比すると實に隔世の感に堪えないのである。然しながら躍進の途上に在る國情に照し尙ほ未だ以て完璧を得たりと言ふを得ないのである。

我道路改良會が道路法の制定せられたる大正八年を以て創立せられて以來先づ東京市内道路の改良を強調し次で東海道路線の改良、橋梁の架設の急務を宣傳し或は實地を踏査し或は政府當局に建言し進んで全國の道路改良の促進を圖らんが爲め雜誌其の他の文書を刊行し或は講演會を開催し或は關係當事者の智能を啓發せんが爲に隔年に道路職員講習會を開催し或は歐米諸國に技術者を派遣して先進國に於ける道路改良の實況を視察調査せしめ或は國際道路會議に代表者を出席せしめて諸外國の路政状態を知得すると同時に我國の實況を報告し或は昭和八年に於ては大阪に道路大會を開催して本會の使命達成の途を圖り或は昨十一年に於ては一號國道視察自動車旅行を舉行して其の改良實績と未改良状態とを比較研究すると共に國產自動車の機能の實驗を爲し或は實話標語の懸賞募集を行ひて道路の改良及愛護の思想普及を圖る等路政の發達に努力する所あり。道路状態の今日あるは本會の與つて力あることは強ち自贊にあらずと信ず。併し更に本來の使命

に顧みれば前途尙遠なるものがある即ち一號國道中伊勢路の如き或は二號國道の西播以西の如き其の改良の急を告ぐるものがあるのみでなく全國々道は勿論府縣道市町村道の改良の促進諸材料の改善選擇工法の研究國鐵との平面交叉改良港灣との連絡設備全國的道路網の整調道路の經濟的研究等今後益々奮勵精進して一層努力する所がなければならぬ。

今や全世界に亘りての國防戰及經濟戰は愈々益々尖鋭化し來つたのである而して其の經濟政策具體化の先驅として道路の一大改良計畫が研究實行せらるゝに至つたのは之を伊太利及獨逸に於て視る即ち伊太利に於てはムツソリーニの鐵腕的精力に依つて全國に涉り延長二萬糎の主要幹線國道と之に連絡する十五萬糎の地方道路の大擴張大改良が遂行せられたのみでなく更に進んで大自動車専用の觀光道路が建設せられたのである。又獨逸に於てはヒットラーが政權を確立するや間もなく主要都市間の距離短縮を企圖して延長四千餘哩に亘る理想的國道自動車道路網を計畫し着々其の工事が進捗されて居るのである。

斯の如く伊獨兩國に於ては道路の改良に日も尙足らずとするの觀を呈して居るの秋交通機關の王位を占むる道路の改良は躍進興隆の日本帝國として喫緊の政策なりと謂はざるを得ない從て今後更に一段の碎勵努力を費す所なければならぬと痛感する次第である。

新年に際し所懐の一端を述べ會員諸氏と共に更に道路改良に邁進せんことを期す。